

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第219号



今回のテーマ 民主党候補者を巡り混戦する米国の「予備選挙」

米国で、11月の大統領選挙に向け、各党の候補者を決めるための予備選挙が始まりました。特に、混戦模様となっている民主党の候補者選びに注目が集まっています。今回は、米国の予備選挙について、大統領候補が決まるまでの流れを調べてみました。

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

1. 予備選挙

4年に一度行なわれる米国の大統領選挙では、大統領を決める本選挙の前に、民主党・共和党の各党が候補者を決めるために、全米の各州などで「予備選挙」や「党員集会」が行なわれます。

予備選挙は、有権者が立候補者本人に直接投票するのではなく、支持する候補者を宣言している代議員に投票する間接選挙です。代議員は、州の人口に比例して配分されています。

また、党員集会では、党員が議論を行ない、候補者ごとの代議員の配分を決めます。ただし、大半の州は予備選挙の方式をとっており、党員集会を行なうのはごく一部の州のみとなっています。

その後、全国党大会が開かれ、各候補が各州で獲得してきた代議員が、実際に候補者に投票します。ここで過半数の支持を得た候補者が、その党の正式な大統領候補として指名されます。

今年は2月3日のアイオワ州党員集会を皮切りに、6月まで各州で予備選挙や党員集会が相次ぐ予定です。全国党大会は、民主党が7月、共和党が8月に開く予定で、各党の候補者選びは約半年に及ぶ長期戦となります。

ステップアップ

予備選挙では、共和党は勝者が代議員を総取りする方式を採っている州が多い一方で、民主党は原則として得票率に応じて比例配分する方式を採っています。このため、民主党では代議員の獲得数の差が開きにくく、早期決着するケースは少なくなっています。



(次のページへ続きます)

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

足元の状況を見ると、与党・共和党の候補者を巡っては、アイオワ州党員集会でトランプ大統領が圧倒的な得票率で勝利しました。また、同氏の対抗馬の2人のうち1人が撤退を発表しており、トランプ大統領が共和党の候補となることが確実視されています。

野党・民主党では、事前の世論調査で中道派のバイデン前副大統領が支持を集めていたものの、アイオワ州党員集会では得票率4位、続くニューハンプシャー州の予備選挙では5位と、苦戦を強いられています。一方で、左派のサンダース上院議員や、バイデン氏に代わって人気を集めている中道派の若手候補のブティジェッジ氏が同集会や予備選で1~2位を獲り、勢いをみせています。

サンダース氏とブティジェッジ氏の接戦に加え、前ニューヨーク市長のブルームバーグ氏などの他候補も足元で支持率を伸ばすなど、民主党の候補者選びは混戦模様が強まる状況となっています。なお、大企業や富裕層への増税を主張するサンダース氏ら左派候補の善戦が続く場合、市場に嫌気される可能性があります。

2. スーパーチューズデー



スーパーチューズデーとは、予備選挙や党員集会が集中して行なわれる日を指します。毎回、2月または3月上旬の火曜日(チューズデー)に集中することから、このように呼ばれています。

今年は3月3日の火曜日がスーパーチューズデーとなっており、15程度の州や準州などで予備選挙・党員集会が集中します。代議員数の多い主要州も含まれており、この日だけで全米の代議員の1/3程度を占めるとされています。特に、代議員が400人を超えるカリフォルニア州の予備選挙が前回より3カ月前倒しされて、同日に行なわれることにより、注目度は一段と高まっています。

同日の結果を受け、民主党の候補者がある程度は絞られると見込まれますが、足元で混戦模様となっているだけに、候補者が一本化されるまでには時間がかかると予想されます。また、本選挙でもトランプ大統領と民主党候補のどちらが勝つかは不透明です。仮に、トランプ大統領が再選されたとしても、大統領選挙と同日に行なわれる議会選挙の結果次第では、上下両院で民主党が過半数を占め、同氏の政策がほとんど通らなくなる可能性もあります。

このように、米国政治の先行きを巡っては様々な要因から先行きを見通しづらい状況となっており、予備選挙から11月の本選挙に至るまで、市場の注目が集まる状況が続きそうです。

複雑なプロセスで長期戦が見込まれる米国の大統領選挙。まずは山場のスーパーチューズデーの結果に注目ですね。

 [facebook](#)  [twitter](#) で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

ステップアップ

事前の世論調査では、各民主党候補者とトランプ大統領が争った場合、主要な民主党候補者がトランプ大統領に対して僅差ながら概ね優勢となっています。しかし、過去の大統領選では現職の再選率が高いことに加え、民主党内で支持が分散する状況が長引けば、トランプ大統領に有利に働くことから、同氏が再選するとの見方もあります。

